

取付説明書 — デッキ編(樹の木Ⅱ) —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。(立てかけて置かないでください)
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- デッキ上にフェンス等の上物を設置する場合は、あらかじめ指定の床板補強材を組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を用いてください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

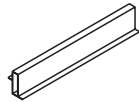
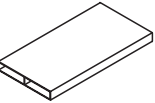
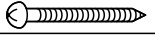
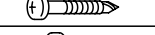
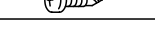
施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工 束柱施工位置決め	・暖蘭物語ーデッキ編 (樹の木Ⅱ)ー	E122
デッキの施工 基礎石の配置～束柱化粧材の取付け	・樹の木Ⅱ	E146
デッキの施工 EX補助根太の位置出し	・暖蘭物語ーデッキ編 (樹の木Ⅱ)ー	E122
デッキの施工 EX補助根太の取付け～幕板の取付け	・樹の木Ⅱ	E146
内面デッキの施工 柱の建て込み～内面デッキの取付け	・暖蘭物語ーデッキ編 (樹の木Ⅱ)ー	E122

<施工上のご注意>

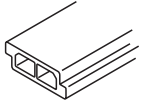
注意

- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って(平行)行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

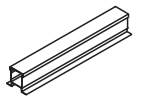
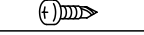
①EX柱取付材セット

名 称	略 図	員 数
EX補助根太		2
EX柱取付材		1
①-① φ4×70トラスタッピンネジ1種		8
①-② φ3.8×20ナベALC特殊ネジ		40
①-③ φ4×13ナベピアスネジ		17

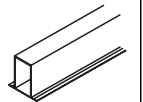
②内面標準床板セット

名 称	略 図	員 数
内面標準床板		2

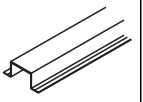
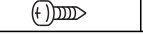
③補助根太セット

名 称	略 図	員 数
補助根太		1
③-① φ4×19ナベピアスネジ		6

④EX面デッキ根太Cセット

名 称	略 図	員 数	
		L=2100	L=3100
EX面デッキ根太C		1	1
④-① φ4×13ナベピアスネジ		12	18

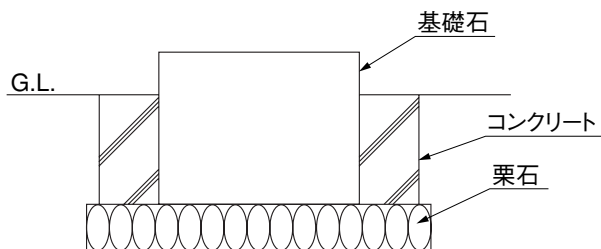
⑤EX面デッキ根太Dセット

名 称	略 図	員 数	
		L=2100	L=3100
EX面デッキ根太D		1	1
⑤-① φ3.8×20ナベ特殊ネジ		30	40

INDEX

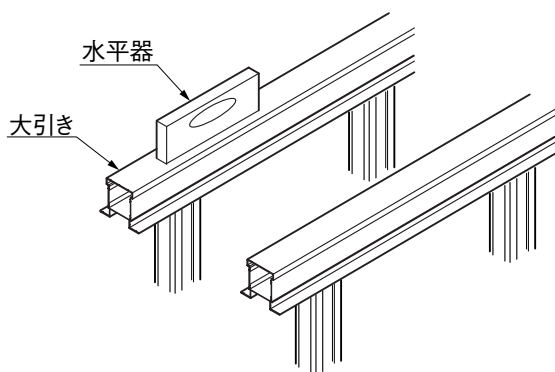
1 施工時の重要確認事項	4
2 基本寸法図	6
1. 1.5間	6
1-1 6尺	6
1-2 9尺	7
2. 2.0間	8
2-1 6尺	8
2-2 9尺	9
3. 2.5間	10
3-1 6尺	10
3-2 9尺	11
4. 3.0間	12
4-1 6尺	12
4-2 9尺	13
3 本体の施工方法	14
1. EX補助根太の位置出し	14
2. 柱の建て込み	15
3. 下レールの取付け	16
4. 内面デッキの張り方	17
5. 床部見切り材の固定	19
6. 施工後の仕上げ	20

1 施工時の重要確認事項



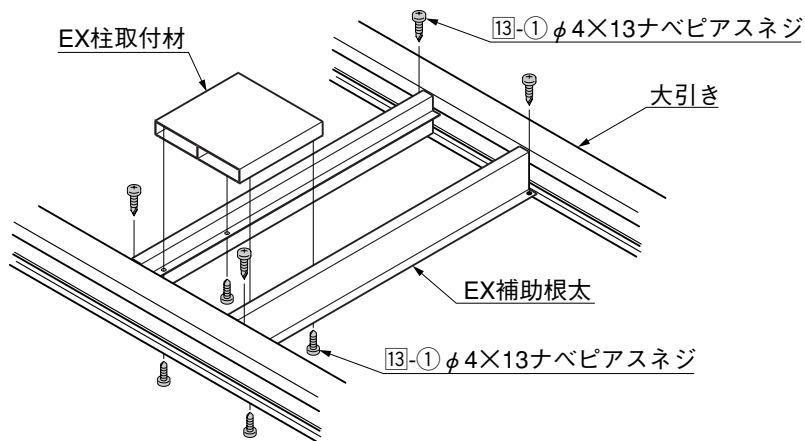
ポイント

- 各基礎石の位置を約30cm角, 深さ20cmに掘り、栗石を敷いた上に基礎石を設置した上で、最終的に周りをコンクリート(またはモルタル)で固めてください。基礎石を固めないと、基礎の浮き沈みが生じるおそれがあります。
- 基礎石は、 $w=200 \times d=200 \times h=200\text{mm}$ 以上にしてください。



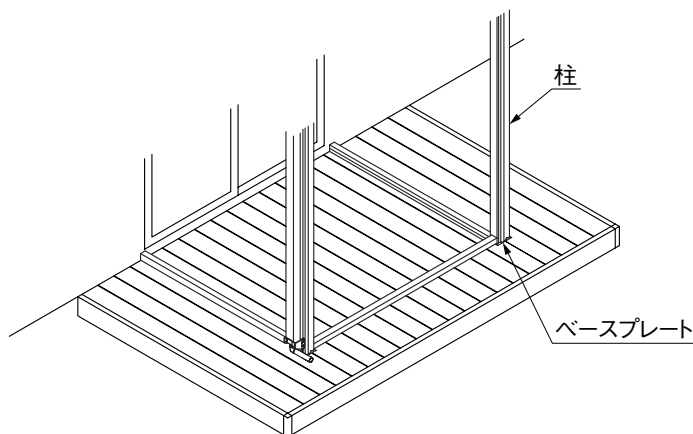
ポイント

- 大引きが傾いていないことを確認してください。水平が出ていないと、パネルの開閉に支障をきたす場合があります。



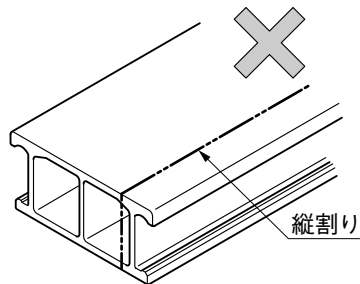
ポイント

- デッキ上にエクシオール柱等の上物を固定する場合は、あらかじめ指定の位置にEX補助根太セットを入れてください。EX補助根太セットを入れ忘れると、一度張った床板を取外し組付けなければなりません。



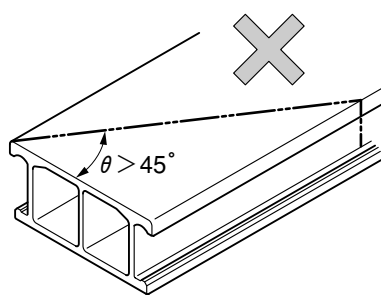
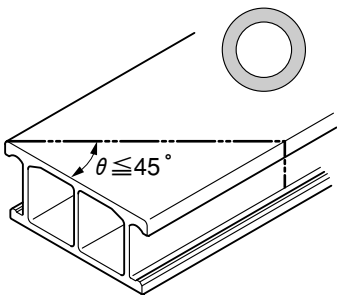
ポイント

- デッキ上へのエクシオールの設置は、ベース仕様のみになります。



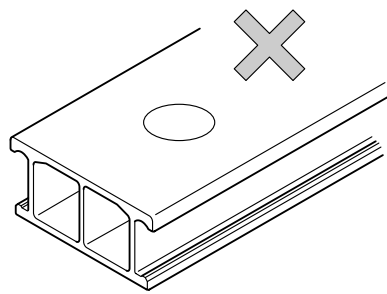
ポイント

- 床板・幕板・内面標準床板は縦割りはできません。材料の変形・破損の原因になります。
- 床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。
(141mm=床幅136mm+目地5mm)



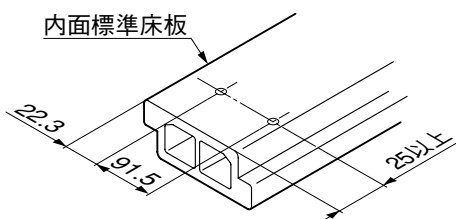
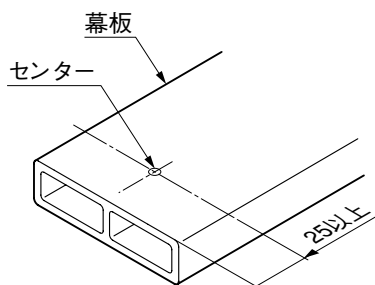
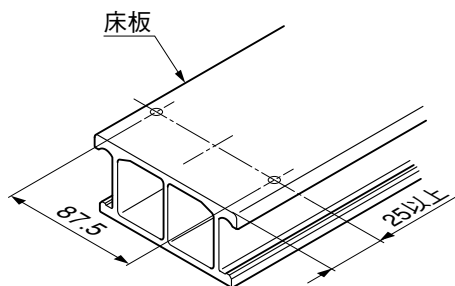
ポイント

- 床板・幕板を斜め切りするときは、45°以内にしてください。切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

- 床板・幕板の部材中央部をくりぬかないでください。材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

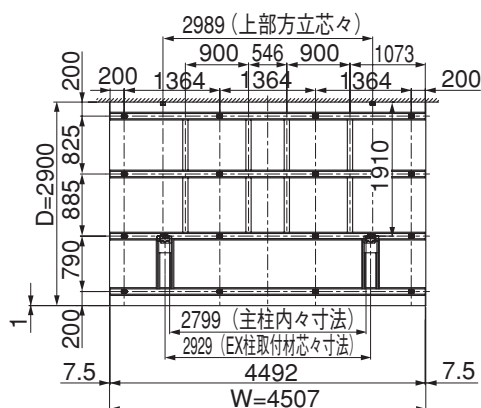
- 床板・幕板・内面標準床板を取付ける際は、専用の固定ネジ治具を使い固定してください。ネジの打込み位置がずれると、材の変形・破損の原因になります。

2 基本寸法図

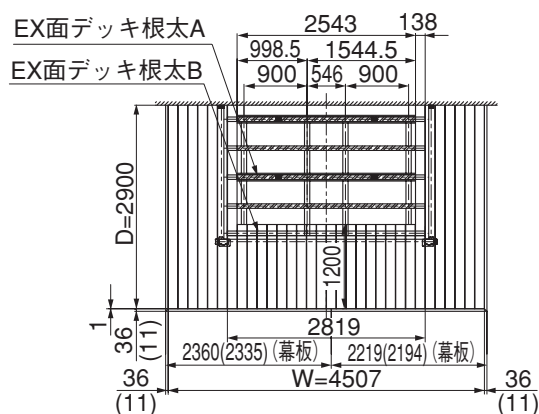
1.1.5問

1-1 6尺

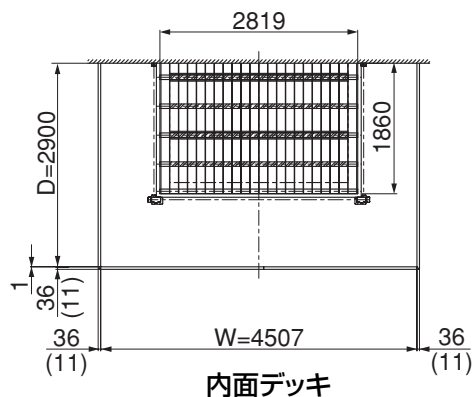
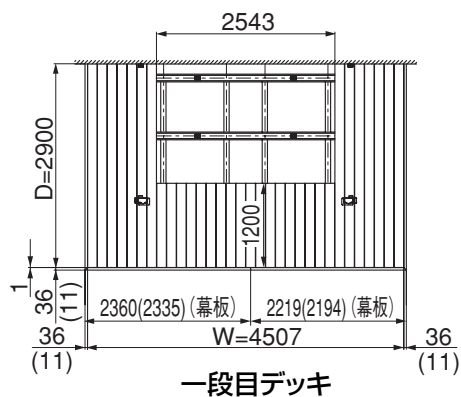
(1) デッキ基礎伏図



(2) テッキ根太伏図



(3) テッキ割付図



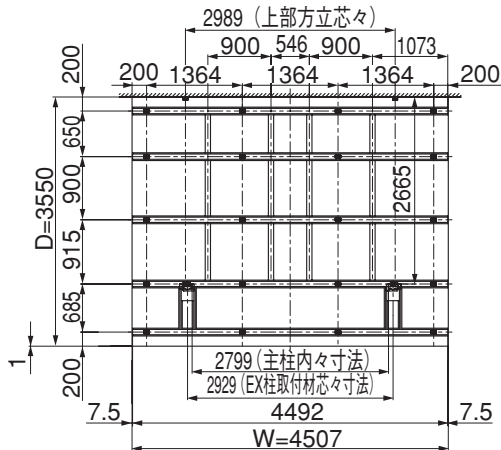
仕 様	床板		幕板		内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=2400	L=2900	L=2450	L=2950	L=2067	C		D	
						L=2100	L=3100	L=2100	L=3100
内面デッキ	9	14	2	2	22	1	2	1	1

 補足

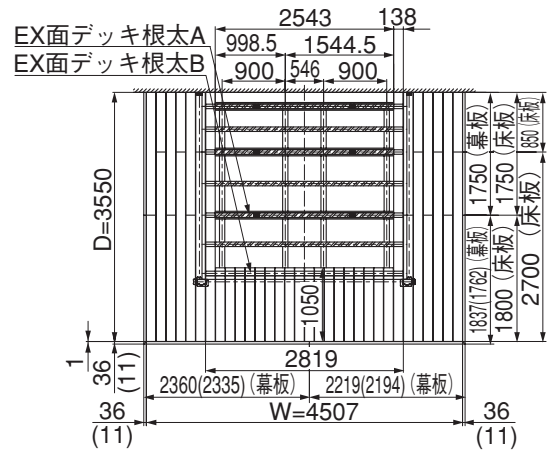
- 床板 L=1200,18枚は、L=2400,9枚より切断加工してください。
- デッキ根太C L=1544.5;4本はL=3100;2本より、L=998.5;4本はL=2100;2本より、切断加工してください。
- デッキ根太D L=138×8はL=2100;1本より、L=2819はL=3100;1本より、切断加工してください。

1-2 9尺

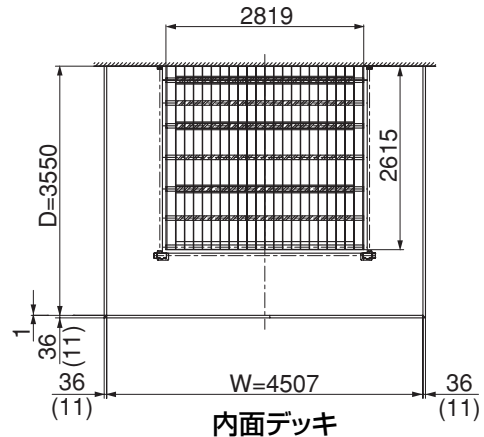
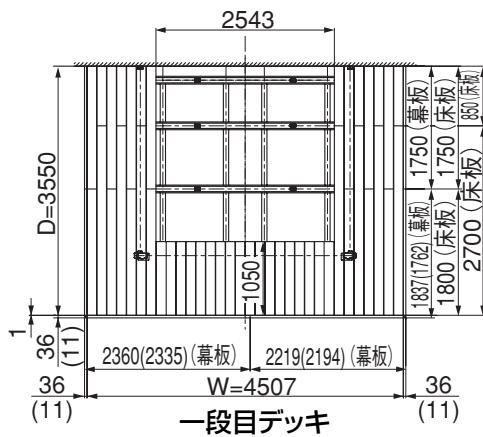
(1) デッキ基礎伏図



(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



仕 様	床板			幕板		内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=1800	L=2100	L=2700	L=1850	L=2450	L=2667	C		D	
内面デッキ	16	10	8	4	2	22	—	5	1	1

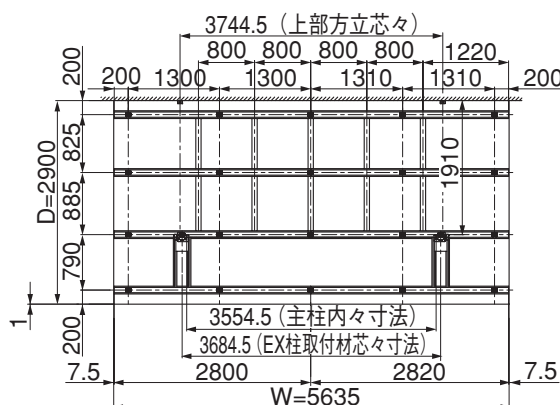
補 足

- 床板 L=850;7枚はL=1800;2枚とL=2700;1枚より、L=1050;18枚はL=2100;9枚よりL=1750;7枚はL=1800;7枚より切断加工してください。
- デッキ根太C L=1544.5;6本はL=3100;3本より、L=998.5;6本はL=3100;2本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=138×12;計12本はL=2100;1本より、L=2819はL=3100;1本より切断加工してください。

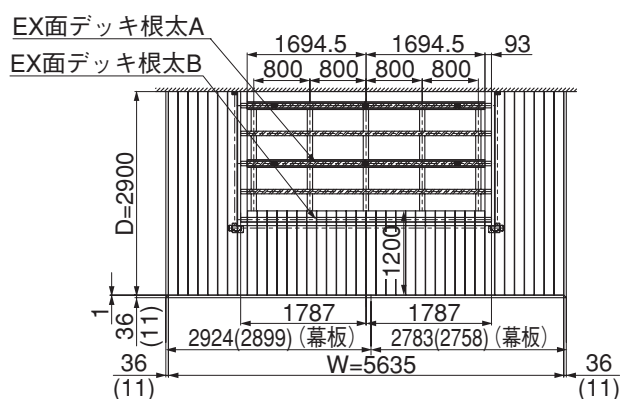
2. 2.0間

2-1 6尺

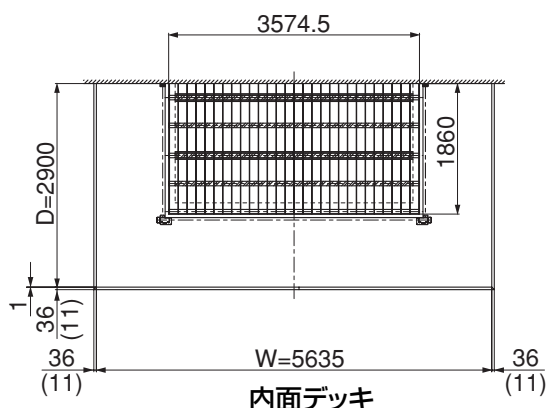
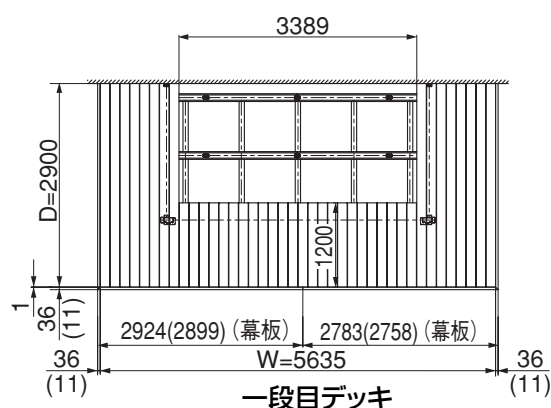
(1) デッキ基礎伏図



(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



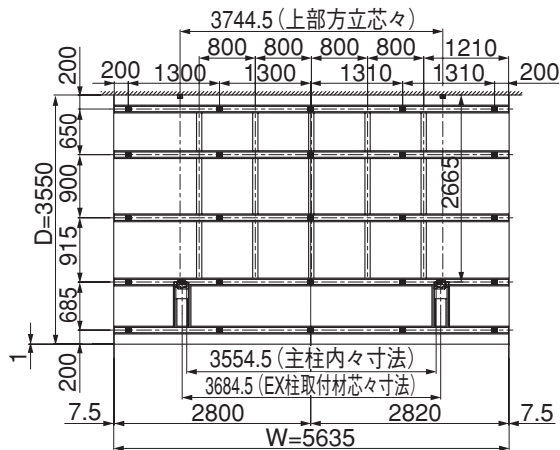
仕 様	床板		幕板	内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=2400	L=2900	L=2950	L=2067	C		D	
	L=2100	L=3100	L=2100	L=3100	L=2100	L=3100	L=2100	L=3100
内面デッキ	12	16	4	28	8	—	1	1

補 足

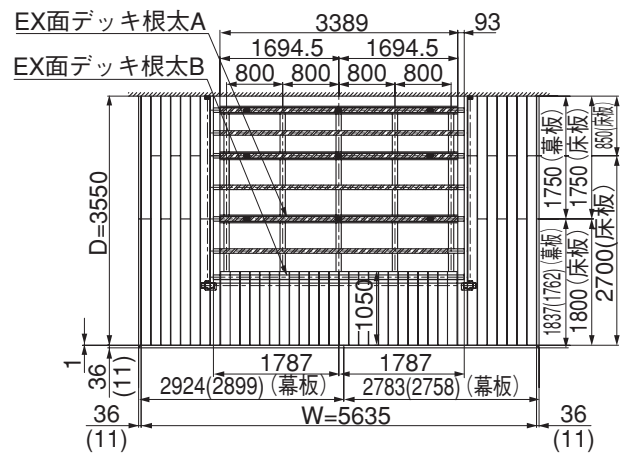
- 床板 L=1200;24枚は、L=2400;12枚より切断加工してください。
- デッキ根太C L=1694.5;8本は、L=2100;8本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=93×8本とL=1787×1本はL=3100;1本より、L=1787;1本はL=2100;1本より、切断加工してください。

2-2 9尺

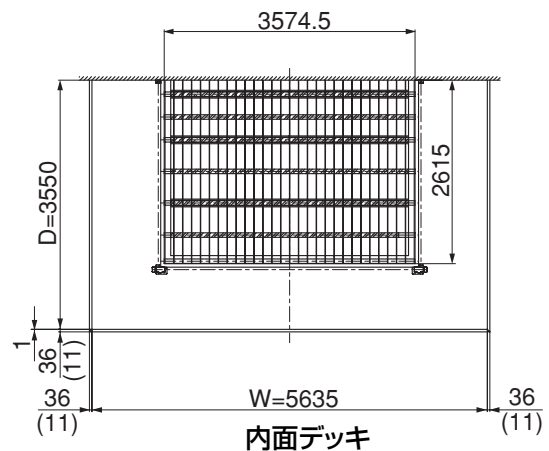
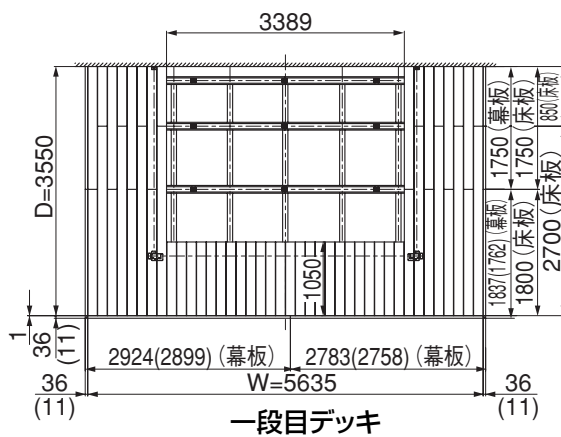
(1) デッキ基礎伏図



(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



仕 様	床板			幕板		内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=1800	L=2100	L=2700	L=1850	L=2950	L=2667	C		D	
内面デッキ	20	12	8	4	2	28	L=2100	L=3100	L=2100	L=3100

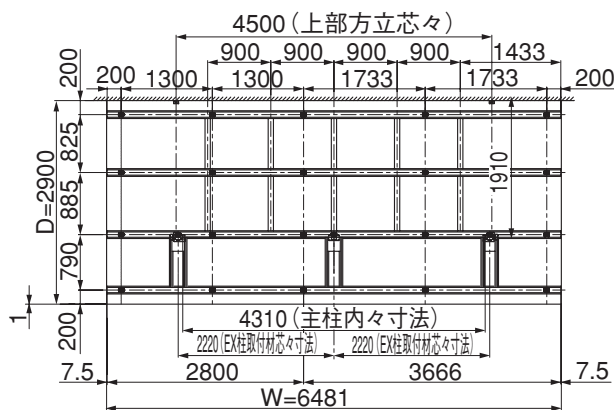
補 足

- 床板 L=1050;24枚はL=2100;12枚より、L=850;8枚はL=1800;4枚より、L=1750;8枚はL=1800;8枚より、切断加工してください。
- デッキ根太C L=1694.5;12本は、L=2100;12本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=93×12およびL=1787;計13本は、L=3100;1本より、L=1787;1本は、L=2100;1本より、切断加工してください。

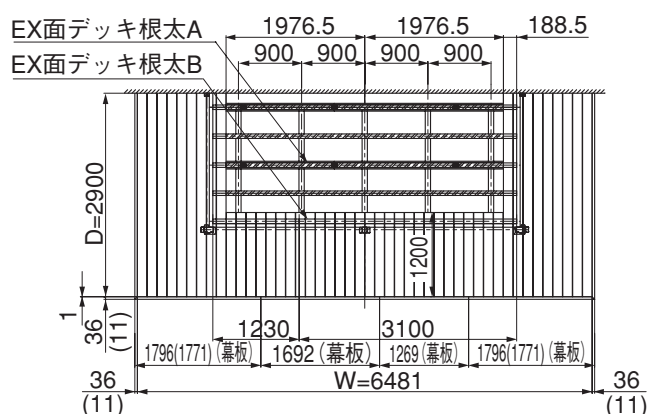
3. 2.5間

3-1 6尺

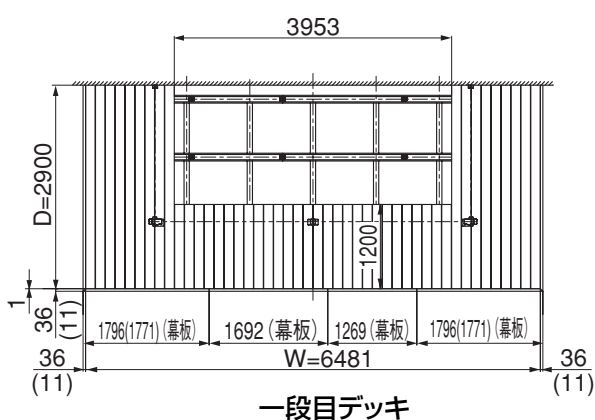
(1) デッキ基礎伏図



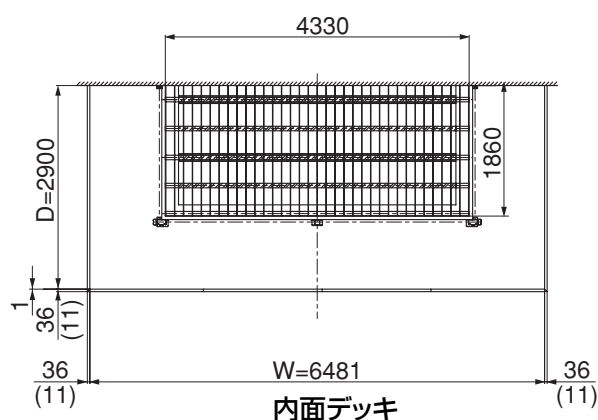
(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



一段目デッキ



内面デッキ

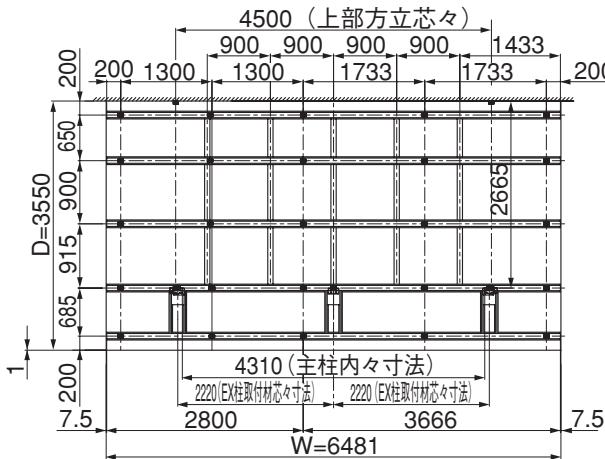
仕 様	床板		幕板		内面標準床板	エクシオール面デッキ根太				
	L=2400	L=2900	L=1850	L=2950		L=2067	C		D	
							L=2100	L=3100	L=2100	L=3100
内面デッキ	14	18	4	2	34	8	—	—	2	

補 足

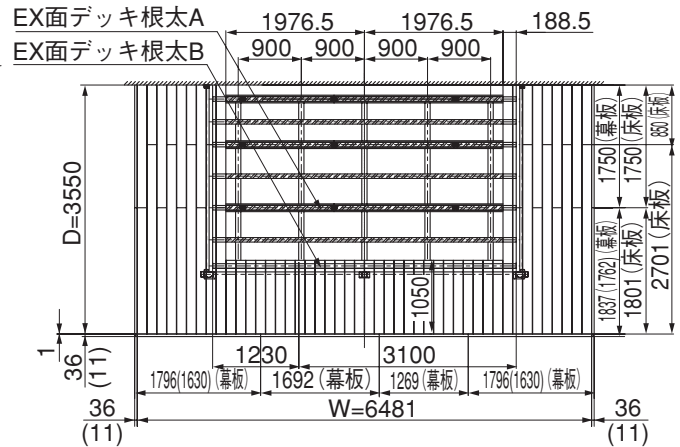
- 床板 L=1200,28枚は、L=2400,14枚より切断加工してください。
- デッキ根太C L=1976.5;8本は、L=2100;8本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=188.5×8およびL=1230;計9本はL=3100;1本より、切断加工してください。

3-2 9尺

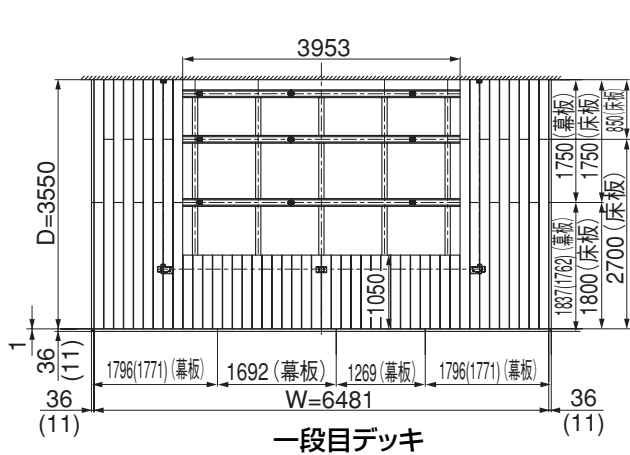
(1) デッキ基礎伏図



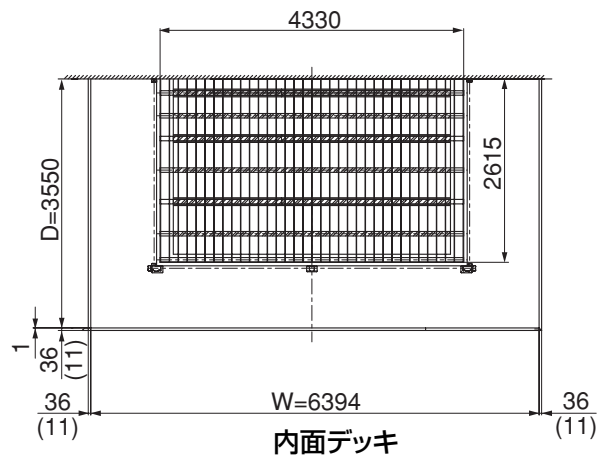
(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



一段目デッキ



内面デッキ

仕 様	床板			幕板	内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=1800	L=2100	L=2700	L=1850	L=2667	C		D	
						L=2100	L=3100	L=2100	L=3100
内面デッキ	21	14	10	8	34	12	—	2	1

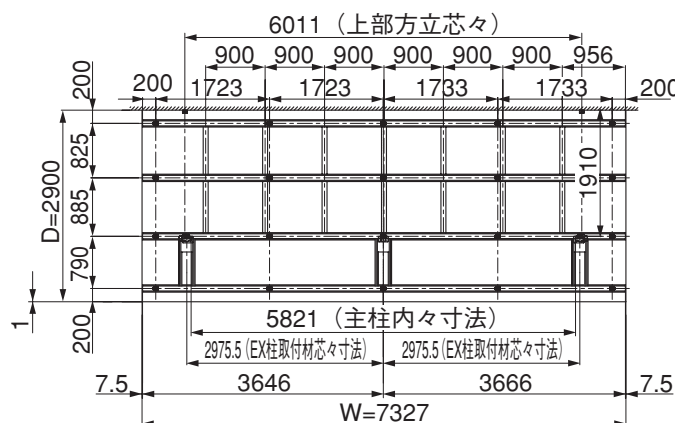
補 足

- 床板 L=1050;28枚は、L=2100;14枚より、L=850;9枚はL=1800;3枚とL=2700;1枚より、L=1750;9枚はL=1800;9枚より、切断加工してください。
- デッキ根太C L=1976.5;12本は、L=2100;12本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=188.5×2とL=1230はL=2100;1本より、L=188.5×10はL=2100;1本より切断加工してください。

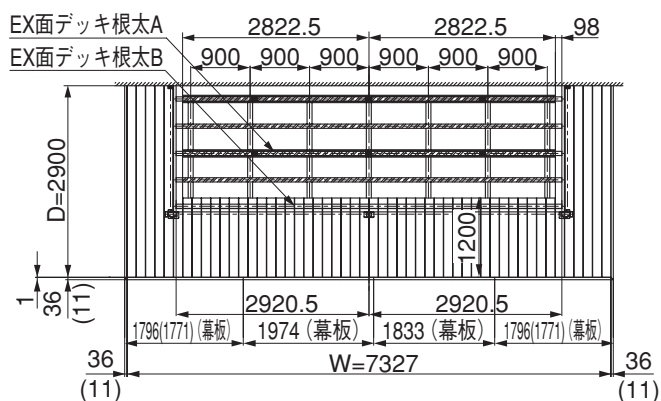
4. 3.0間

4-1 6尺

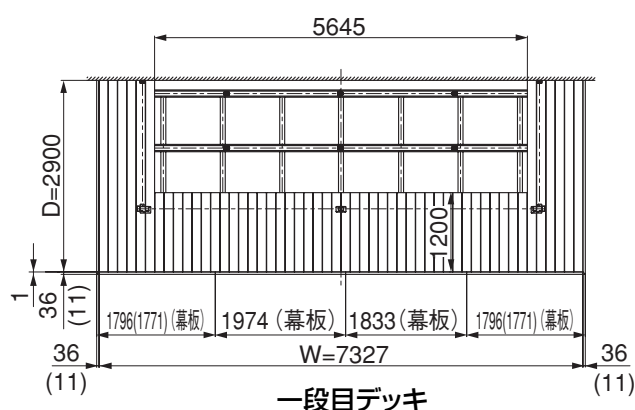
(1) デッキ基礎伏図



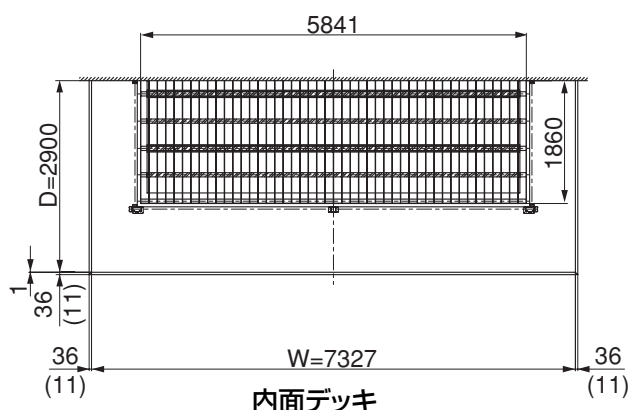
(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



一段目デッキ



内面デッキ

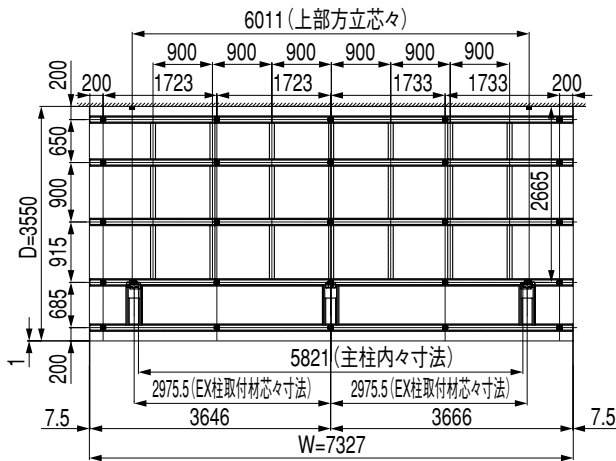
仕 様	床板		幕板			内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=2400	L=2900	L=1850	L=2150	L=2950		C		D	
							L=2100	L=3100	L=2100	L=3100
内面デッキ	20	12	2	2	2	46	—	8	1	2

補 足

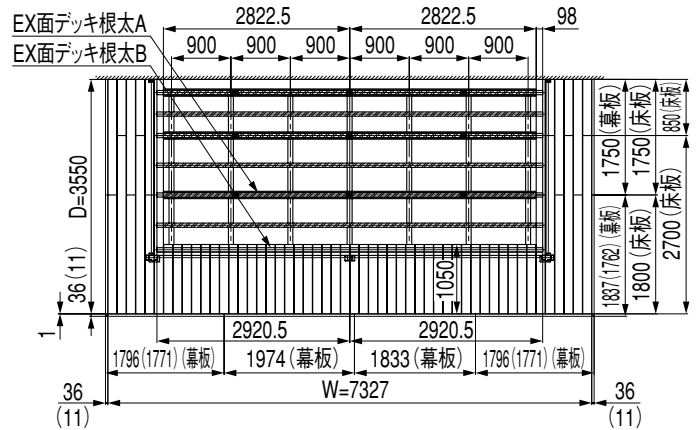
- 床板 L=1200,40枚は、L=2400,20枚より切断加工してください。
- デッキ根太C L=2822.5;8本は、L=3100;8本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=98×8;計8本はL=2100より、L=2920.5;2本はL=3100;2本より、切断加工してください。

4-2 9尺

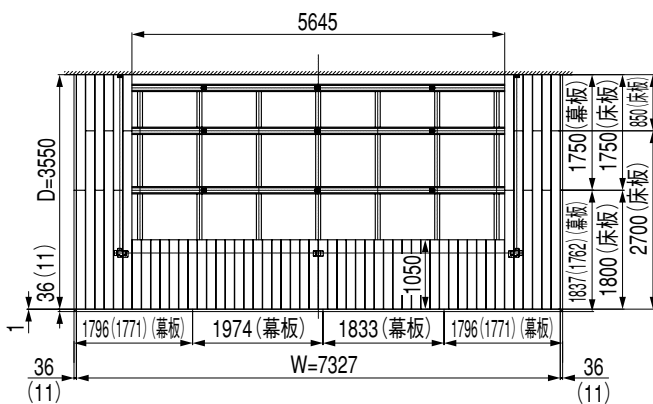
(1) デッキ基礎伏図



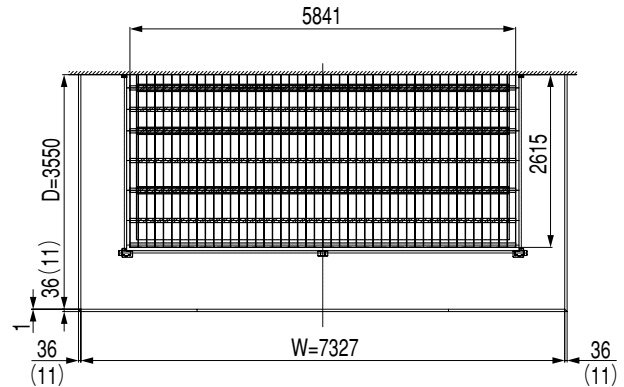
(2) デッキ根太伏図



(3) デッキ割付図



一段目デッキ



内面デッキ

仕 様	床板			幕板		内面標準床板	エクシオール面デッキ根太			
	L=1800	L=2100	L=2700	L=1850	L=2150	L=2667	C		D	
内面デッキ	15	20	6	6	2	46	—	12	1	2

補 足

- 床板 L=1050;40枚はL=2100;20枚より、L=850;6枚はL=1800;3枚より、L=1750;6枚はL=1800;6枚より、切断加工してください。
- デッキ根太C L=2822.5;12本は、L=3100;12本より切断加工してください。
- デッキ根太D L=98×12はL=2100;1本より、L=2920.5;2本はL=3100;2本より、切断加工してください。

3 本体の施工方法

1. EX補助根太の位置出し

⚠ 注意

- エクシオール本体の支柱をベース建てる位置には、支柱の固定強度確保のため必ずEX補助根太セットを床板の組付け前に取付けてください。

🔑 ポイント

- EX補助根太セットの中心と柱中心は一致します。

📏 補足

- EX補助根太の取付位置は、「[2 基本寸法図](#)」を参照してください。
- 本体の柱位置寸法は、「[暖蘭物語—総合編—\(E092\) 3項 基本寸法図、5-1項 柱位置出し](#)」を参照してください。

間 口	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W寸法 (柱基準芯々寸法)	2929mm	3684.5mm	4440mm	5951mm
W1寸法 (中間柱寸法)	—	—	2220mm	2975.5mm

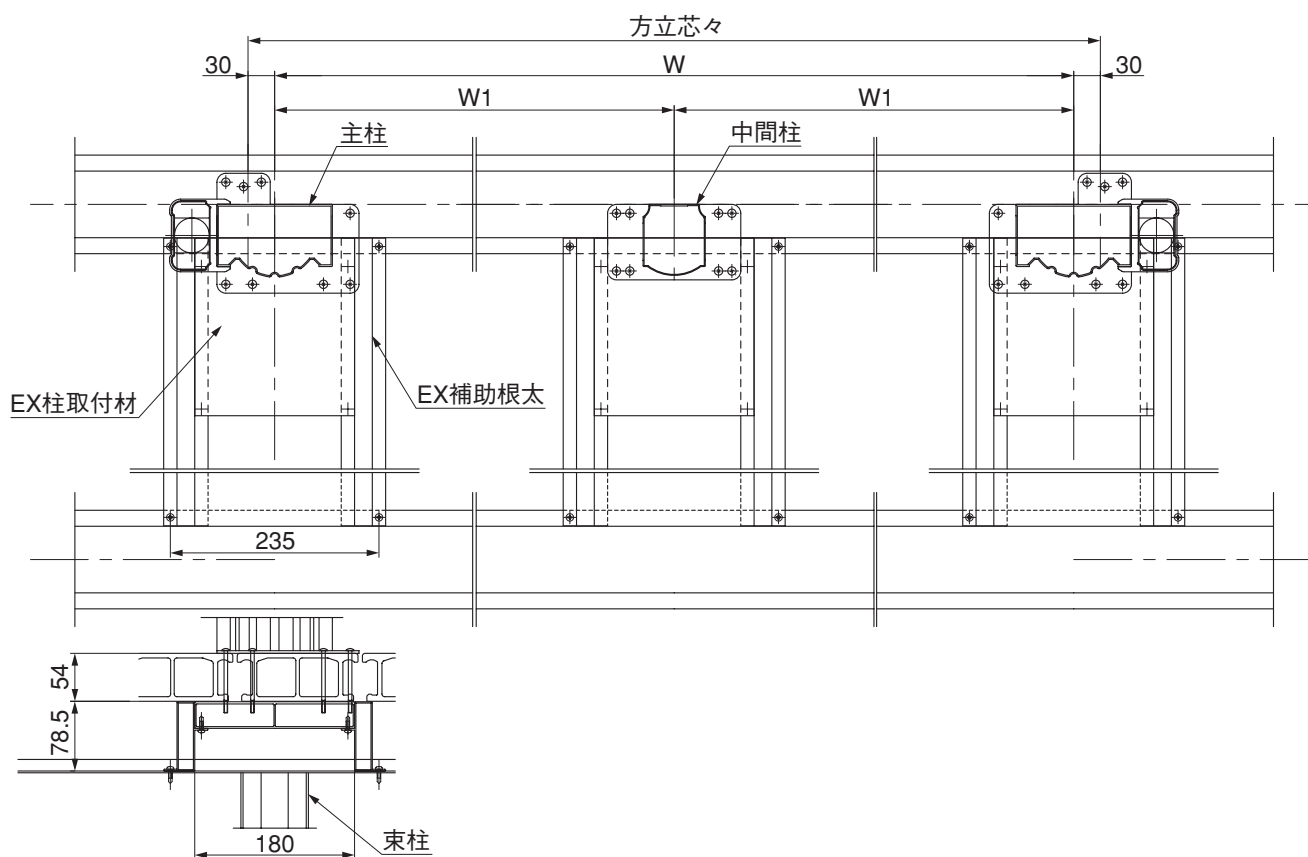
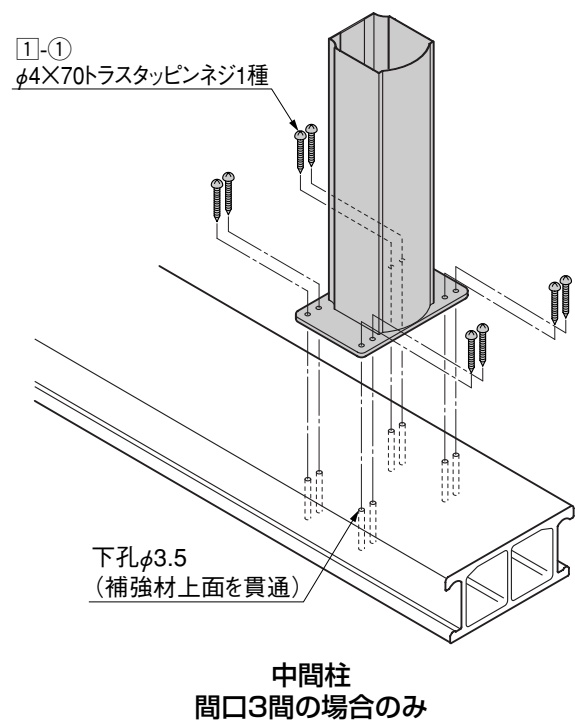
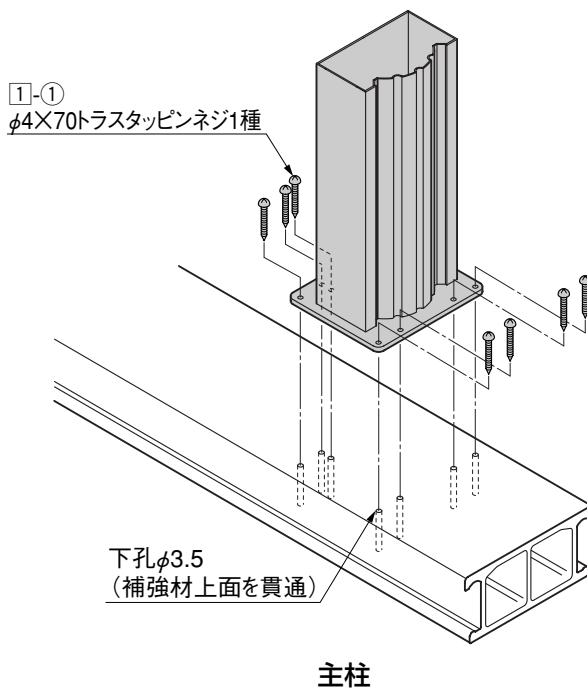


図1-1

2. 柱の建て込み

ポイント

- 柱加工寸法は、「暖蘭物語—総合編—(E092) 4項 柱の建て込み」を参照してください。
- ベースプレート取付けの際にあける下孔は、EX柱取付材まで貫通してください。



- ❶ 柱とベースプレートを組付けた後、床板とEX柱取付材にφ3.5の下孔をあけてください。
- ❷ 柱を1-1で固定してください。

3. 下レールの取付け

ポイント

- 上レールの施工方法は、「暖蘭物語－総合編－(E092)」を参照してください。
- 下レール(下レールカバー)、縦枠固定金具(下部)をデッキ面に取り付ける際、床板補強材セットに同梱してある $\phi 3.8 \times 20$ ナベ特殊ネジを使用してください。エクシオール本体セットに同梱してある $\phi 4.1 \times 32$ 丸木ネジは使用しません。
- 下レール等に工場加工してある固定孔以外に孔を追加加工し、ネジを固定してください。追加加工の必要がある部材に関しては、表3-1を参照してください。
- ネジ追加固定の必要判断条件は、ネジ固定間隔が350mm以下になることです。(図3-1参照)(※2)

補足

- 部材名称は、「暖蘭物語－総合編－(E092) 上下レールの施工方法」を参照してください。

表3-1 固定孔、追加加工対象部材

部材名称		部材寸法	既存孔数	追加孔数	孔数合計
下レール	1.5間用	2671.5	5	4	9
	2.0間用	3427	7	6	13
	2.5間用	4182.5	8	8	16
	3.0間用	5693.5	8	8	16
	6尺用	1698.5	4	3	7
	9尺用	2453.5	6	4	10
下レールカバー	1.5間用	2644.5	5	4	(9)※1
	2.0間用	3400	7	6	(13)※1
	2.5間用	4155.5	8	8	(16)※1
	3.0間用	5666.5	8	8	(16)※1
	6尺用	1671.5	4	3	(7)※1
	9尺用	2426.5	6	4	(10)※1

補足

- 下レールと下レールカバーの固定孔は同一位置にありますので、固定点数は()内の本数になります。(※1)

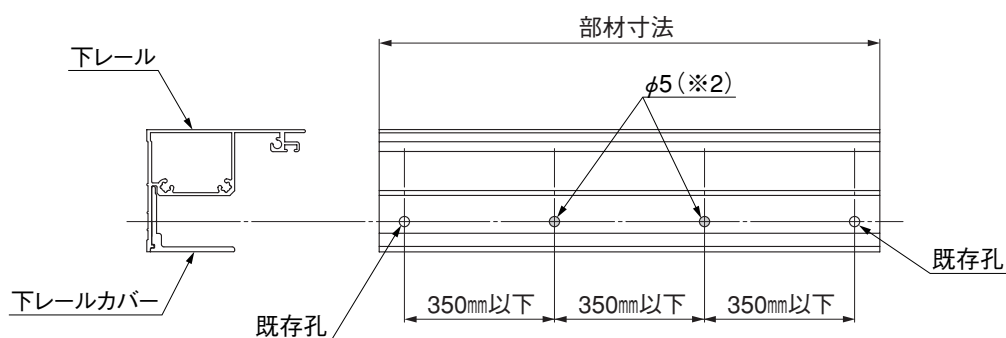
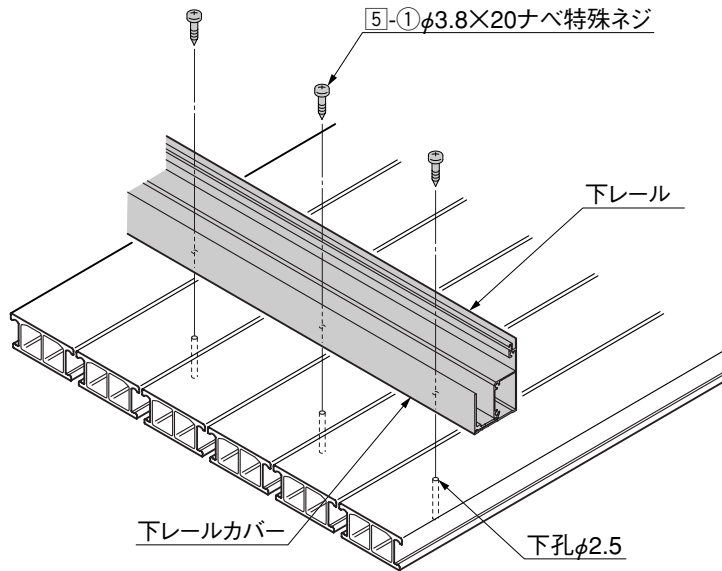


図3-1

3. つづき



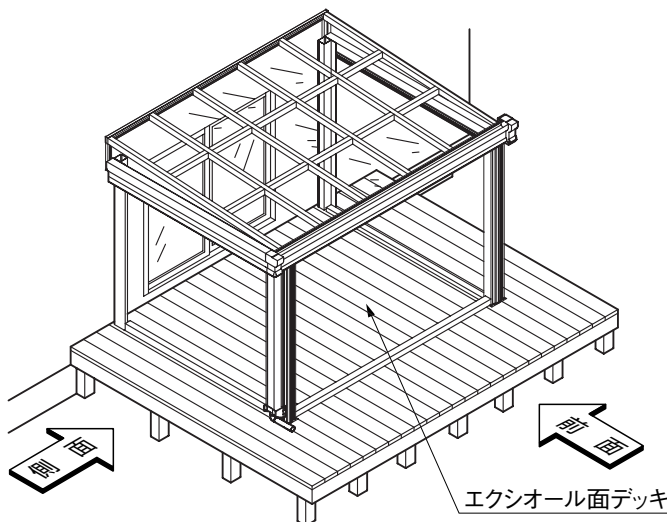
- ① デッキ取付用孔の追加が必要な部材(表3-1参照)は、既存孔間にφ5の下孔をあけ、孔の最大間隔が350mm以下になるようにしてください。(図3-1参照)
- ② 床板にφ2.5の下孔をあけてください。
- ③ 下レールと下レールカバーを、デッキ面に5-1で固定してください。

ポイント

- ネジを打つ際、電動ドライバー等による締め過ぎにご注意ください。ネジ山が不良になるおそれがあります。
- 固定用ネジ孔がちょうどデッキの目地に当たった場合は、ネジが打てる範囲に孔をずらして固定してください。

4. 内面デッキの張り方

※「暖蘭物語—総合編—(E092) 上下レールの施工方法」後に行なってください。



補足

- 縦切り部は、ラップ形状部のみで14mm以下にしてください。(図4-1参照)
- 反対側端部の床板は切断する必要はありません。(図4-2参照)

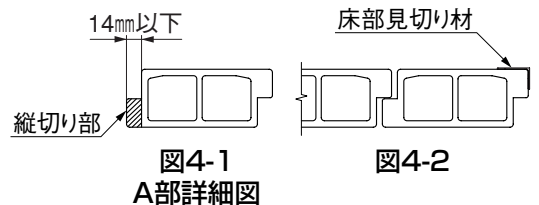
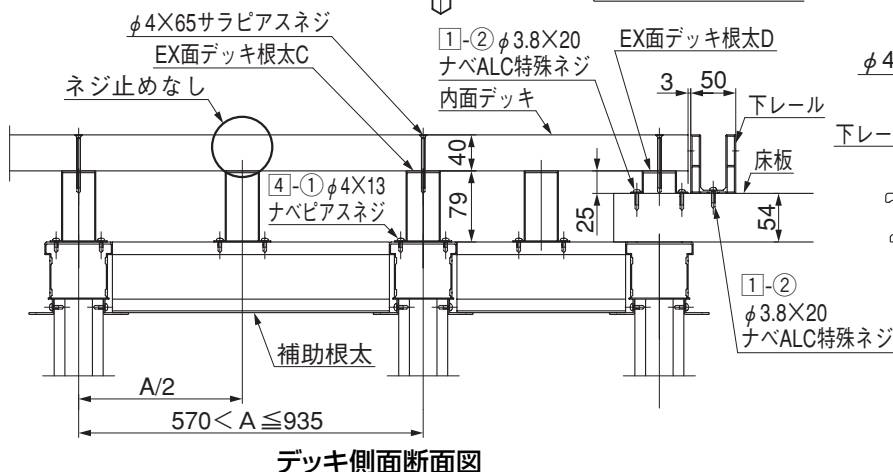
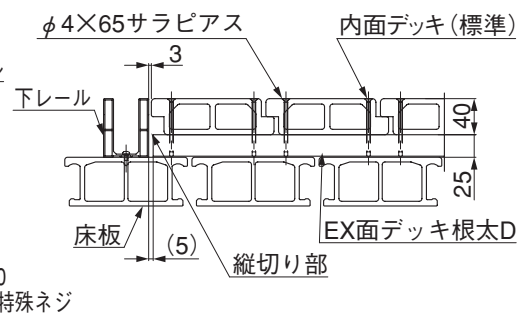


図4-1
A部詳細図

図4-2



デッキ側面断面図



デッキ前面断面図

4. つづき

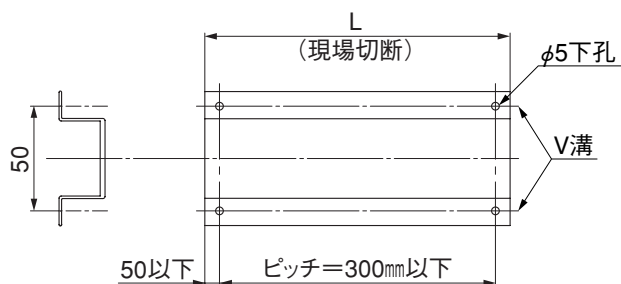
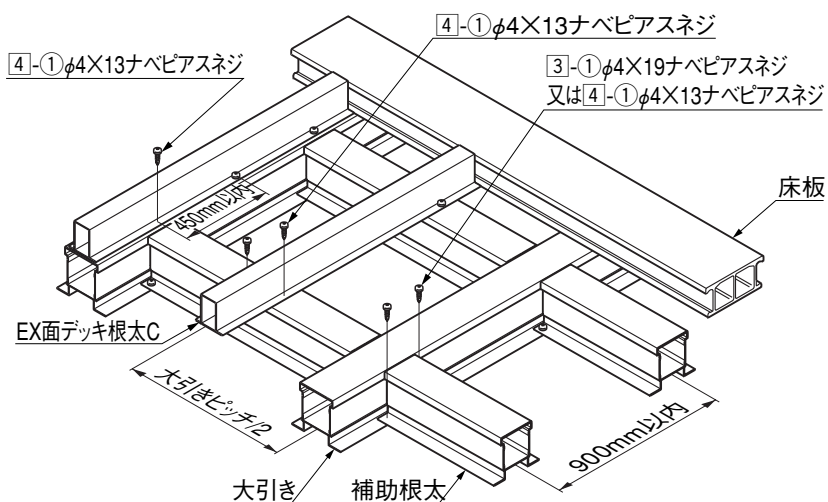
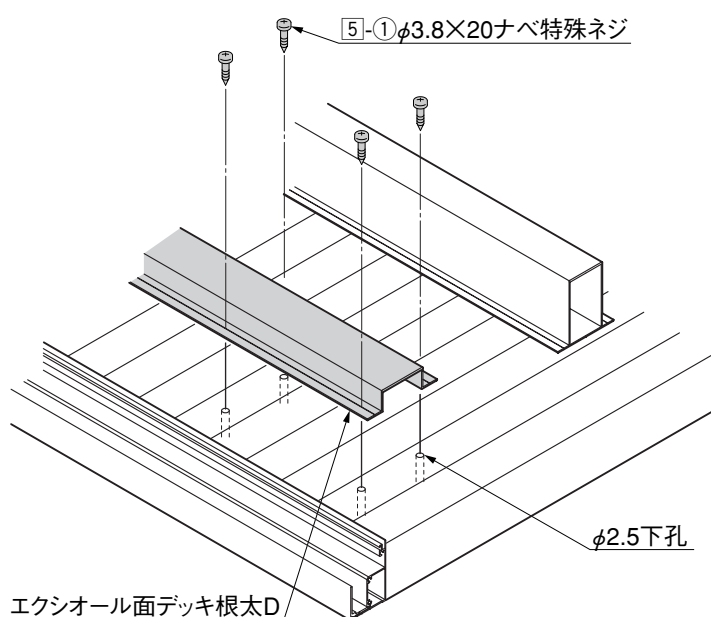


図4-1 エクシオール面デッキ根太Dの加工内容



ポイント

- エクシオール面デッキ根太C・Dの切断寸法および納まりは、「2 基本寸法図」を参照してください。
- エクシオール面デッキ根太Dを取付ける際、電動ドライバー等による締め過ぎにご注意ください。ネジ山が不良になるおそれがあります。
- エクシオール面デッキ根太Dに固定用ネジ孔を加工する際、床板の目地を避けるように加工してください。

- ① 補助根太を大引きの内々寸法に合わせて切断し、③-①又は④-①で取付けてください。
- ② エクシオール面デッキ根太Cを切断してください。
- ③ エクシオール面デッキ根太Cを大引き上面及び補助根太中央に、④-①で固定してください。
- ④ エクシオール面デッキ根太Dを切断してください。
- ⑤ エクシオール面デッキ根太Dに、φ5の下孔をあけてください。(図4-1参照)
- ⑥ 床板にφ2.5の下孔をあけてください。
- ⑦ エクシオール面デッキ根太Dを床板上面に、⑤-①で固定してください。

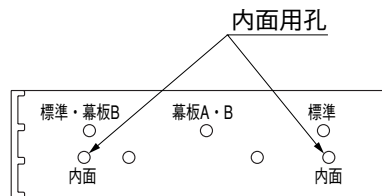
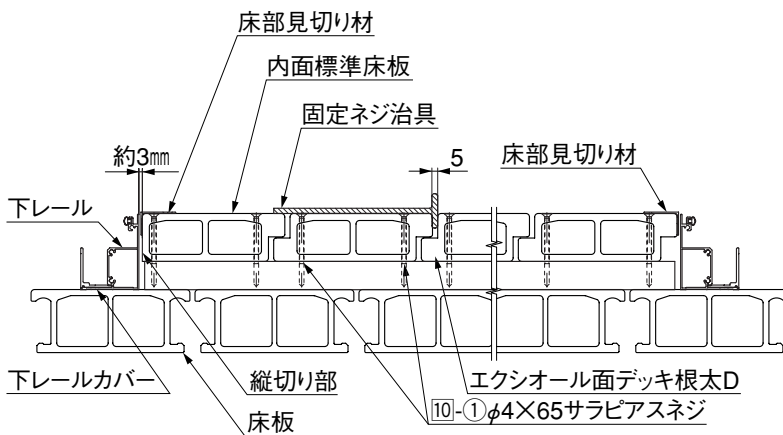


図4-3 固定ネジ治具

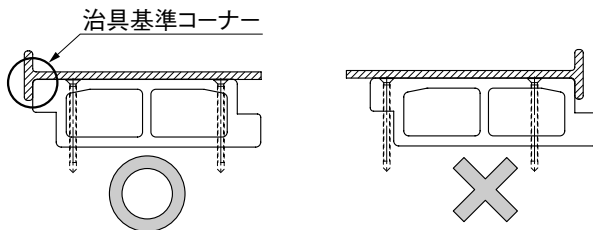


図4-4 固定ネジ治具使用例

ポイント

- 内面床板には上下の区別があります。研磨加工面が上面になります。
- 内面床板と下レールのすき間を3mm程度あけて張込んでください。
- 内面床板の張込みは、センターより振り分けて行なってください。
- 床板残り枚数が全体の1/3になった時点を目安に、目地調整をしてください。
- 床板目地ピッチは約5mmです。付属の固定ネジ治具を利用してください。(図4-3参照)
- ネジを打ち込む際、電動ドライバー等による締め過ぎにご注意ください。

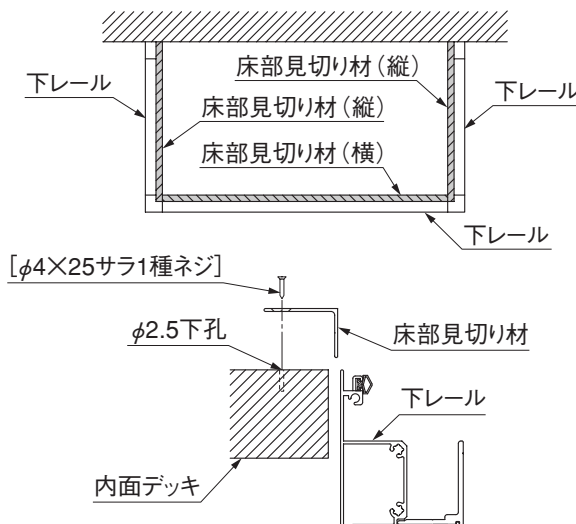
⑦ 床板間に固定ネジ治具をはさみ、「内面」と刻印してある下孔を使い(図4-3参照)、φ4.5下孔(床板のみ)とφ9サラ取りをしてください。

⑧ 内面床板を根太に、10-①で固定してください。

ポイント

- 内面床板に固定ネジ治具で下孔位置を加工する際、治具の当て方に注意してください。基準方向を間違えるとネジが補強部分から外れます。(図4-4参照)

5. 床部見切り材の固定



① 内面デッキを施工後、床部見切り材を取付けてください。

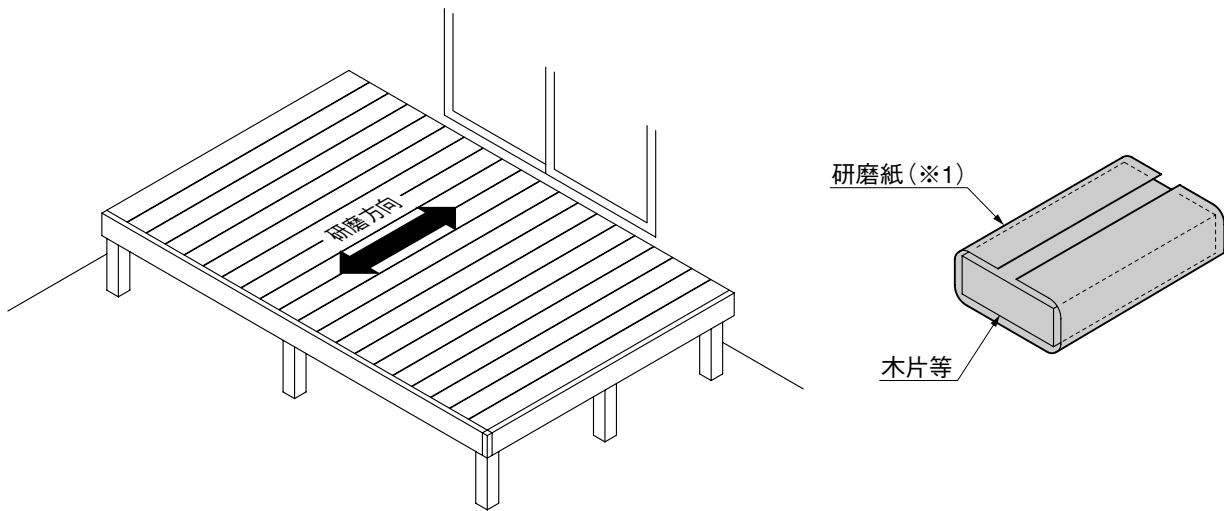
② 床部見切り材(縦)を躯体～レール内までの寸法に合わせてカットし、内面デッキにφ2.5の下孔をあけ、ネジで固定してください。

③ 床部見切り材(横)を取付けてください。

補足

- 図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

6. 施工後の仕上げ



① 施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)